

2018年12月19日
太啓建設株式会社

愛知県豊田市で初の営農型太陽光発電所の完工

太啓ホールディングスグループの太啓建設株式会社は、2017年7月頃より計画していた営農型太陽光発電所(通称:ソーラーシェアリング)が2018年12月に完工を迎えました。本発電所は愛知県豊田市で初の事例になります。

太啓建設株式会社は、2011年より一般法人として農業に参入し、水稻栽培を行い、グループ会社のレストランにて提供するお米を栽培してきました。さらに2018年にはTAIKEIファーム株式会社を設立し、農地所有適格法人の認定を受け、豊田市より農業経営改善計画認定書を受理しています。本発電所は、発電と営農を両立させた新しいビジネスモデルの実証実験設備としての役割を担っており、来春には発電所の下でこれまで通り水稻(大地の風)の栽培を継続します。

我々が従事しています建設業は「地域の守り手」としての役割を持ち、新しい時代の担い手を確保すべく、現在ICTの取り組みを積極的に進めています。そして、地域に根差す建設会社として、地域の抱える農業分野の課題に対応する受け皿の役割を担うべく今回の事業を展開していきます。

豊田市は、SDGs(持続可能な開発目標)未来都市に選定されており、持続可能な都市づくり、ミライにつながる社会の実現に向けての取り組みが進められています。太啓建設株式会社が取り組む本事業は、SDGsの達成に向けた取り組みとして推進していきたいと考えています。

【施設概要】

■ 事業用地	: <u>豊田市浄水町下三戸口11-1 外1筆</u>
■ 面積	: <u>3,050㎡</u>
■ 発電出力	: <u>49.5kW(AC) / 70.4kWp(DC)</u>
■ 太陽光モジュール	: <u>110w 640枚</u>
■ パワーコンディショナー	: <u>9.9kW×5台</u>
■ 杭基礎	: <u>グランドスクリュー(L=2,500) 99本</u>
■ 架台	: <u>ソーラーシェアリング用アルミ架台</u>

◆位置図



